

2023年6月1日

管理文書No.ASW-23-002

（一社）スタッド協会

2023年度6月以降開催

スタッド溶接技術講習会「新型コロナウイルス対策」実施要領

－新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行への対応－

1. 会場での講習会について

「（一社）スタッド協会 新型コロナウイルス感染症のステージ別対応方針」の段階レベルに応じたコロナ感染の対策を講じた上で対面式の講習会にて実施する。

2. 講習会等の収容人数

会場定員に対する収容率は、50%以内を目安とする。（施設の方針と比べいずれか少ない方）

3. 体温測定と健康状態の確認

3.1 受講者に対する取り組み

講習日前10日以内に体温が37.5℃程度の発熱や倦怠感等の新型コロナウイルスと疑われる症状がある場合には講習会の受講を控えて頂く旨の案内を事前に行う。受講される受講者に対し、体温測定と体調確認を行う。

3.2 講師、技術委員、補助要員に対する取り組み

- (1) 講習日前10日以内に体温が37.5℃程度の発熱や倦怠感等の新型コロナウイルスと疑われる症状がある場合は、従来と同じく代理者にて対応する。
- (2) 担当講師、技術委員、補助要員に対し、体温測定と体調確認を行う。

4. 手洗い・うがい・手指の消毒

4.1 受講者に対する取り組み

受講者に対し、手洗い・うがい・手指の消毒をお願いする。会場施設内及び受付に消毒液を設置する。

4.2 講師、技術委員、補助要員に対する取り組み

担当講師、技術委員、補助要員に対し、手洗い・うがい・手指の消毒を励行。講師、技術委員、補助要員の待機エリアや、受付にも消毒液を設置する。

5. マスクの着用

全ての講師、技術委員、補助要員は不織布マスクを着用する。また、受講者にもできるだけマスクの着用をお願いする。マスク着用希望者を想定し協会にて不織布マスクの予備を準備する。

6. 消毒、清掃及び換気の強化

- (1) 講習会場における机等の消毒、清掃及び換気を会場管理者と連携して定期的(講習会前及び講習後)に実施する。
- (2) 会場への入場時、休憩時間後の再入場時など都度、手指の消毒をお願いします。
消毒液は講習会場出入口の近くに設置する。

7. 座席の配置について

7.1 座席の配置

施設側に確認し施設の方針に従う。

7.2 ソーシャルディスタンスの確保

- (1) 受付では、受講者と技術委員、補助要員の対面接触を軽減するよう不織布マスクを着用する。
- (2) 入場受付での整列時では、受講者同士の間隔を空ける取り組みを行う。
(入場時間の個別の案内等により人数軽減や受付時の声掛けにより距離を確保する。)
- (3) 受付での整列時やエレベーターご利用時にはソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
- (4) 講習会資料等の配布物は直接手渡しをせず、事前に机の上に配布する。

8. 受講の際の注意事項

事前に受講者へ送付する受講案内へ下記の注意喚起を追記する。

-----新型コロナウイルス感染拡大防止の為に注意喚起-----

1) 来場前

講習日前10日以内にせきなどの風邪症状や体温が37.5度程度の発熱や倦怠感等の新型コロナウイルスと疑われる症状がある場合には、講習会の受講をお控え頂き、当協会までご連絡ください。ご連絡頂いた場合は、当日でも受講料の返金又は以降の日程で再受講が可能です。
なお、再受講に関しては、日程及び予約人数の都合もありますので別途ご相談ください。

2) 来場時

- (1) 入場時はできるだけマスクの着用をお願いします。
- (2) 会場受付手前にて、必ず手指消毒をお願いします。
- (3) 受付前での検温、体調確認を行います。
(体温37.5 度程度の発熱、せき、体調不良、倦怠感等の新型コロナウイルスと疑われる症状がある受講者は受講をお控えください。既にご入金頂いている方には返金を行います。)
- (4) 会場施設各所に消毒液を設置、適時手指の消毒をお願いします。

3) 講習会后

講習会の受講後1週間以内に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、スタッド協会へ速やかに連絡をお願いします。

9. コロナウィルス感染拡大防止の必要備品

- 非接触型の体温計1会場2個程度、講習会の開催数増加も考えられるため必要数を準備
- 消毒液1会場最低2個設置（受付・会場内）
- 消毒用除菌シート1会場1個 【講習会準備時及び終了時機の除菌】
- 不織布マスク1会場1箱（50 枚）
- 使い捨て手袋（受付対応者）

※これら備品の数量は目安とし、必要に応じて数量を増加する。

10.その他

情勢に変化が生じた場合、情勢に合わせて本ガイドラインの内容を予告なしに変更する場合がある。

以上